

第4次いずみおおつ健康食育計画進捗管理評価シート(令和7年～12年)

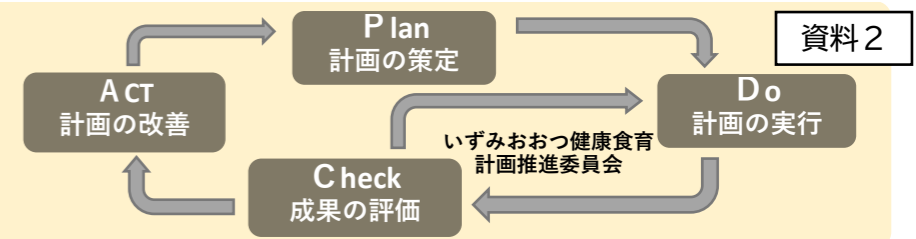
**基本理念** 誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり～未病予防対策先進都市をめざして～

**基本目標**

- ①生活の質(QOL)を高め、健康寿命を延ばす
- ②ヘルスリテラシーを高め、健康づくりへの気運醸成を図る

## 進捗管理・評価について

指標項目について、実施内容を確認するとともに目標達成状況を評価し、課題及び対応策について検討し「いずみおおつ健康食育計画推進委員会」において意見聴取の上、随時適切に見直しをしながら進捗管理していきます。



\* 取組評価 A:概ね計画通り実施できた B:一部実施できた  
C:実施できなかった D:評価困難

基本方針	指標項目		目標値	策定時 現状値	R6実績	(P)主な取り組み	担当課	(D)実績(R7) 回数・参加数・詳細等	(C) 取組評価	(A)評価理由・課題・対応策
未病予防対策の推進・食育の推進・病気の早期発見と重症化予防（ライフステージ別）	妊娠・出産・乳幼児期	親子でチャレンジ！未来に向けた健康づくり								
		乳幼児健診の受診率	4か月児	100%	97.8%（R5）	98.8%	①規則正しい生活習慣の獲得など、家族で取り組む未病予防対策	子育て応援課		
			1歳6か月児		97.7%（R5）	98.2%	妊産婦や乳幼児の歯の健康づくりに取り組むとともに、健康な身体づくりへの情報発信や知識の普及啓発のため、両親学級や各種講習会、ホームページやパネル・掲示板の展示、おやこ広場での取り組み等を実施する。また、就学前施設においても、むし歯予防を目的としたフッ化物洗口や歯磨き指導、あしゅびを意識した運動遊び等を日々の活動に取り入れ、健康な身体づくりをめざすとともに、子どもを通して、保護者への正しい知識の普及啓発を行う。	こども育成課		
								こども政策課		
								健康づくり課		
		3歳児	95.1%（R5）	98.1%	②食べる意欲を育むための食の体験活動の充実	子育て応援課				
		3歳児のむし歯のある子どもの割合		7%	8.2%（R5）	6.0%	妊娠期間中を健康に過ごすため、妊婦に栄養価の高いお米を提供する「マタニティ応援プロジェクト」の実施や、農業体験や調理体験を含んだ親子参加型の食の体験活動を通して食育の推進に取り組む。また、就学前施設においても、食への興味や関心を育むため、食育アドバイザーによる食育推進事業に取り組むとともに、給食食材に栄養価の高いお米や有機野菜を取り入れたり、野菜の栽培・収穫、調理体験を実施します。	こども育成課		
		朝ごはんを食べている子どもの割合		100%	94.4%	－		健康づくり課		
		妊婦の喫煙率		0%	2.3%（R5）	2.4%	③母子保健を通じた健康づくりの推進	子育て応援課		
	たばこを吸っていない、または子どもがいる場所では吸わない保護者の割合		100%	95.1%	－	妊娠期からの健康づくりとして、専門職による面談や保健指導、家庭訪問を通して妊娠・出産・育児への不安の軽減を図るほか、妊産婦及び乳幼児への健診の実施や、健診の待ち時間を活用し、親子の健康づくりに必要な情報の発信を行う等、妊娠期からの支援体制の整備を行う。また、就学前施設においては、心身の健康状態を把握するとともに、保護者への助言や有所見者への受診勧奨を行うとともに、規則正しい生活習慣の獲得に向け、取り組みを実施する。	こども育成課			
	学童・思春期	健康な”こころとからだ”の二刀流								
		肥満度20%以上の子どもの割合	小学生	減らす	7.8%（R5）	7.1%	①健康づくりへの関心を高め、成長期の身体づくりを支援	指導課		
			中学生		8.3%（R5）	9.0%	望ましい食習慣や運動習慣、むし歯予防に関する知識の普及啓発を行うとともに、学年に応じた内容の食育授業や歯磨き指導等を継続的に実施し、健康な身体づくりを支援する。また、体育のカリキュラムに体幹強化を狙いとした準備運動やストレッチを取り入れられるよう、教員向けに研修を実施するほか、児童が多様な運動に取り組めるよう運動用具を各校に配置するなど、あしゅびプロジェクトと連動した取り組みの実施や、食や健康への意識啓発を図るため、食の掲示板「食育ひろば」を掲示し、情報収集しやすい環境づくりに取り組む。		健康づくり課	
		朝ごはんをほぼ毎日食べている子どもの割合	小学生	90%	88.5%	－	②食を選ぶ力・作る力を育むための支援	教育政策課		
			中学生		84.3%	－				
食育に関心を持っている子どもの割合		小学生	80%	74.4%	－	学校給食において、栄養価の高いお米や発酵食品、農業連携先で収穫された有機食材を活用するとともに、季節の行事食や郷土料理、旬の食材や普段の給食では味わえないような特別な食材を使用した「ときめき給食」「食育の日献立」等の実施を通して、子どもの健全な身体づくりと食育の推進に取り組む。また、調理実習や食の体験活動等を通して、自分の食について考える機会や、規則正しい生活習慣の実践できるよう取り組むとともに、地域団体が実施する「こども食堂」を支援し、共食の機会の提供を図ります。	こども政策課			
		中学生	70%	62.0%	－					
むし歯のある子どもの割合		小学生	25%	29.1%（R5）	27.6%	③学校保健を通じた健康づくりの支援	健康づくり課			
		中学生	18%	21.4%（R5）	21.4%					
睡眠による休養が取れている子どもの割合		小学生	85%	81.0%	－	学校健康診断を充実を図り、子どもの適切な健康管理と意識啓発に努めるほか、小中学校での早寝・早起き・朝ごはん推進運動の推奨や、「ほけんだより」「学校だより」を活用した規則正しい生活習慣の普及啓発等、健康づくり支援を実施する。	指導課			
	中学生	70%	64.4%	－	教育政策課					

\* 取組評価    A:概ね計画通り実施できた   B:一部実施できた  
C:実施できなかった   D:評価困難

基本方針	指標項目			目標値	策定時 現状値	R6実績	(P)主な取り組み	(D)実績(R7) 回数・参加数・詳細等	(C) 取組評価	(A)評価理由・課題・対応策				
未病予防対策の推進・食育の推進・病気の早期発見と重症化予防（ライフステージ別）	青・壮年期	ヘルスケアで未来への健康貯蓄												
		40～64歳の肥満者割合	男性	30%	33.3%	－	①健康状態の見える化や、学びの場の提供による未病予防対策の推進	健康づくり課						
			女性	15%	17.4%	－	ため、健康チェックDayや健康ラボでの測定会の実施に加え、保健センターにセルフ健康チェックコーナーを常設するほか、地域に出向いて健康測定や啓発を行うおでかけ保健室を実施し、健康状態を見える化することで未病状態の気づきを促すとともに、医療専門職による未病相談、食や健康づくりの健康教室、アプリ等を活用した健康づくり支援、子育て世代や女性の健康づくり、あしゅびプロジェクトの普及啓発等、多様な選択肢による未病予防対策に取り組む。また、健康づくり情報や健康データなど情報収集しやすい環境づくりを整えとともに、食や健康づくり、介護予防のボランティアを育成し、活動の場の提供や、活動支援に取り組む。							
		喫煙率	男性	25%	32.7%	－		高年齢介護課						
			女性	7%	9.4%	－								
		睡眠で休養が取れていない人の割合		35%	38.7%	－	②多様な生活様式に合わせた正しい食の実践	健康づくり課						
		睡眠が十分に確保できている人の割合		55%	51.3%	－								
		食育に関心がある人の割合		80%	77.2%	－	自分の適量を知り、バランスのとれた食生活を身につけるため、食の健康教育の実施や、情報発信を行うとともに、野菜摂取量増加に向け、ベジチェックの活用や、市内事業者と協力し、野菜摂取増加の環境づくりに取り組むことで、正しい食習慣の普及啓発を実施する。また、食品ロス削減レシピの募集・紹介に取り組むなど食べ物を無駄にすることなく、大切に消費することや、環境について意識啓発を行う。	健康づくり課						
		生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合	男性	10%	15.4%	－								
			女性		13.0%	－								
		年1回以上歯科健診を受けている人の割合	男性	青年期	48%	43.9%					－	環境課		
				壮年期	47%	42.4%					－			
		身体に不調がある人の割合	女性	青年期	55%	49.2%					－	健康づくり課		
				壮年期	68%	62.2%	－							
	男性		青年期	28%	31.6%	－								
			壮年期	31%	34.3%	－								
	女性	青年期	21%	23.0%	－									
		壮年期	30%	33.6%	－									
	高齢期	つながりを大切に「いきいき生活」												
		年1回以上歯科健診を受けている人の割合	男性	65%	60.4%	－	①不調の改善に向けた地域で取り組む健康づくりの推進	健康づくり課						
			女性		63.8%	－	介護予防体操を行うサークル活動の支援に加え、フレイル測定、あしゅび力測定など各種健康チェックを地域で行うなど、不調の改善に向けた知識普及に取り組むとともに、筋力アップや運動習慣の獲得をめざした教室を開催。また、健康づくりや介護予防について地域で主体的に活動する人材の育成や、介護や介助が必要になっても住み続けられるよう、福祉サービスを提供する。	高年齢介護課						
		何でも噛んで食べることができる人の割合	男性	70%	63.4%	－								
			女性		67.4%	－								
		喫煙率	男性	13%	15.8%	－	②個々の健康状態にあった食生活への支援	高年齢介護課						
			女性	4%	5.1%	－								
		生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合	男性	9%	9.9%	－	低栄養予防のためのバランスの良い食事の普及啓発や配食サービスなどの提供を行うとともに、おいしく食べるためのお口の健康づくりにつながる正しい知識の普及のため、口腔相談やラジオ放送、パネル展示等を行い、情報発信に取り組む。							
			女性	6%	7.2%	－								
ロコモティブシンドロームの減少		男性	220人	248人	－	③生活機能の維持により生活の質を保つための支援	健康づくり課							
		女性	270人	304人	－									
睡眠で休養が取れていない人の割合		15%	17.9%	－	けんしんの受診勧奨や治療中断者への受療勧奨を行うとともに、要精密検査者への受診勧奨でがん等の早期発見・早期治療につなげる。また、ハイリスク者への保健指導やレセプトデータを活用した生活習慣病の重症化予防、認知症に対する知識の普及啓発やサポーターの養成、認知機能の維持・改善に向けた講座を実施する。	高年齢介護課								
困った時に相談できる人がいない人の割合		14%	16.3%	－										
社会活動を行っている人の割合		65%	61.9%	－										

\* 取組評価

A:計画通り実施できた B:一部実施できた

C:実施できなかった D:評価困難

基本方針	指標項目		目標値	策定時現状値	R6実績	(P)主な取り組み	(D)実績(R7) 回数・参加数・詳細等	(C) 取組評価	(A)評価理由・課題・対応策				
健康づくりと食育を支える環境づくり	泉大津市の健康寿命	男性	80.0歳	79.6歳 (R3)	79.7歳 (R4)	基本方針に基づき進めていく取組みの効果が、結果として表れてくる指標であることから、最終年度に評価を行います。							
		女性	84.3歳	83.7歳 (R3)	84.0歳 (R4)								
	不健康な期間	男性	短縮	1.5年 (R3)	1.6年 (R4)								
		女性		3.2年 (R3)	3.3年 (R4)								
	自分のことを健康だと思う人の割合		83%	78.0%	－								
	身体に不調がある人の割合		減少	35.7%	－								
	ヘルスリテラシーの向上		増加	3.61	－								
	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)		減少	115.3 (R4)	135.2 (R5)								
	心疾患の年齢調整死亡率	男性	減少	341.9 (R4)	277.9 (R5)								
		女性		162.9 (R4)	145.9 (R5)								
	脳血管疾患の年齢調整死亡率	男性	減少	108.1 (R4)	65.2 (R5)								
		女性		40.5 (R4)	31.4 (R5)								
	がん検診の受診率(市がん検診)	胃(50～69歳)		10%	5.9%(R5)	6.0%	①未病予防対策を主体的に取り組むことのできる環境づくり						
		大腸(40～69歳)		10%	6.9%(R5)	7.0%							
		肺(40～69歳)		10%	5%(R5)	5.0%							
		乳(40～69歳)		25%	18.6%(R5)	18.7%							
		子宮(20～69歳)		25%	17.6%(R5)	17.5%							
	特定健康診査の受診率(市国保40～74歳)		60%	38.8%(R5)	41.1%(暫定値)	市民が健康づくりに主体的に取り組めるよう、ヘルスリテラシーの向上と健康づくりを推進していく気運の醸成を図るため、各種けんしんの受診体制の整備や、健康状態を見える化できる機会の創出等、自身の健康状態を把握できる環境づくりに取り組むとともに、運動や食に関する健康教室の実施、広報紙やホームページ、イベント等での健康づくり情報の発信を行い、運動習慣の獲得や正しい食生活の実践につながる取り組みを実施する。							
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合(市国保)	男性	44%	48.7%(R5)	46.9%(暫定値)								
		女性	16%	17.3%(R5)	16.4%(暫定値)								
	高血糖治療域の割合(市国保)	男性	16%	17.4%(R5)	15.4%(暫定値)					②多様な健康ニーズに応える施策の展開			
		女性	6%	7.4%(R5)	6.5%(暫定値)								
	運動習慣がある人の割合	男性	53%	48.1%	－	自分に合った健康づくりを選択し実践できるよう、未病予防対策やあしゆびプロジェクト、アプリを活用した健康づくり等、様々な健康プログラムを実施するとともに、ライフステージに応じた情報発信や学びの場の提供を、官民連携・市民共創で取り組む。							
		女性	36%	32.6%	－								
	あしゆびプロジェクトの認知度		40%	30.8%	－	③健康づくりと食育を担う人材の育成							
	食育に関心がある人の割合		80%	77.7%	－								
健康チェック実施者数		6,600人	4,115人 (R5)	5,499人									
ベジチェック平均測定値		7以上	5.3 (R5)	5.2									
ボランティア活動への参加者数		220人	193人 (R5)	219人									
地域の人々とのつながりが強いと思う人の割合		23%	21.6%	－	健康づくりや食育を推進するため、健康づくりボランティアの養成講座を実施し、健康づくりに関わる人材の育成するとともに、ボランティア団体への支援を実施する。また、活動の場や活動体制を整え、市民が地域で健康活動に取り組みやすい環境づくりを進め、地域の人々とのつながりや、社会活動につなげていく。								
社会活動を行っている人の割合		80%	76.1%	－									
望まない受動喫煙の機会を有する人の割合	職場	減少	12.5%	－									
	飲食店		19.2%	－									
女性 の 健康 づく り	適正体重を維持している女性の割合(20～59歳)		75%	69.1%					－	①女性の健康づくり			
	運動習慣のある女性の割合(再掲)		36%	32.6%	－								
	骨粗しょう症検診受診率		10%	5.6%(R5)	7.5%	女性特有の健康課題の改善に向け、女性ホルモン等に関する検査を実施するとともに、乳・子宮がん検診、骨粗しょう症検診の受診体制の充実、運動や食、女性の健康づくりに関する講座等を実施する。							